

# 『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、  
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は  
「バーレーン」



第1号(2008年1月31日)

## バーレーンの基本情報

バーレーン王国は、アラビア半島沿いに位置する40もの島々からなる島国で、日本の奄美大島とほぼ同じ大きさです。バーレーン最大の島は南北に48キロ、東西に16キロのバーレーン島で、首都マナマもここにありません。バーレーンは紀元前6千年頃までアラビア半島と陸続きでしたが、その後自然の力によって島として分離しました。しかし1986年、全長25キロの海上道路によって、バーレーンは再びアラビア半島とつながりました。現在はカタールとの間に、世界最長となる全長45キロの海上道路建設計画も進行中です。また、総合金融センターとなるフィナンシャル・ハーバーの建設も進むほか、高度医療保健センターや、「エデンの園」があったとの伝説もある常夏の楽園の利を生かしたリゾート開発も盛んに行われています。

首都:	マナマ	国章:	
面積:	720.14平方キロメートル		
人口:	約70万人(2006年推計)		
人口増加率:	1.45%(2006年推計)		
言語:	アラビア語。英語も幅広く通じる。		
宗教:	人口の85%がイスラム教だが、信仰は自由。		
一人あたりGDP:	20,496USドル(2006年)		
GDP成長率:	6.5%(2008年予想)		



## 大使館情報

所在地: 東京都港区赤坂1-11-36 レジデンス・バイカウテス720号、520号

\* 東京メトロ銀座線、溜池山王駅13番出口を出て桜坂を上るとすぐ左手に立派な建物が見えてきます。バーレーン大使館はこの建物の1室です。近所にはANAホテルやアメリカ大使館、テレビ朝日などがあります。

面会者:



バーレーン経済開発委員会  
駐日代表部  
今平和雄 代表



バーレーン王国大使館  
経済研究員  
ムカワ・ヘルミ氏

今回お話を伺ったのは、バーレーン経済開発委員会駐日代表部の今平和雄代表、経済研究員ムカワ・ヘルミ氏の2名です。今平代表は元々は民間の金融機関で働いておられ、エジプトやバーレーンに駐在されていたという中東地域のスペシャリストです。現在はバーレーン経済開発委員会の駐日代表として、日本からバーレーンへの直接投資拡大のための各種活動をされています。(2007年12月3日に訪問)

\* バーレーン経済開発委員会 (EDB)  
2000年4月に首長令により半官半民の独立機関として設立。持続的なGDPの成長確保、雇用機会の拡大など更なる経済の多様化を図るため海外からのバーレーンに対する直接投資 (FDI) の拡大を目的としている。

出所: IMF、バーレーン王国大使館



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、  
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は  
「バーレーン」

## バーレーン経済を支える主要産業

バーレーンは1930年代はじめに中東諸国で初めて商業ベースで石油を産出した国ですが、石油のみに頼ることなく、非石油産業の積極的開発に最初に取り組んだ国でもあります。

### 1. 金融

バーレーンの金融産業は中東地域で最も歴史と実績があり、海外の金融機関の多くがバーレーンにオフィスを構えています。日本からもメガバンクや証券会社などが進出しています。バーレーンはさらに金融センターとしての厚みを増したいと考えており、近年イスラム金融の誘致などを積極的に進めています。



**バーレーンフィナンシャルハーバー**  
国家の最重要プロジェクトとして約13億ドルを投じて建設される、中東諸国を代表する国際金融センター（第一期工事は2007年初頭に完成）。通信インフラの整ったオフィスビル、豪華な居住空間、ホテル、レジャー施設などから構成される。

### 2. アルミニウム精錬

バーレーンのアルミ製造産業は確固とした基盤を有しており、現在では年間約84万トン进行精錬し、世界30カ国以上に輸出しています。バーレーンのアルミ産業が発展した背景としては、主要輸出市場（欧州、アジア）への好立地や、整備された港湾・輸送施設、また豊富なエネルギー源（天然ガス）の存在により、電気代が安いことなどがあげられます。



精錬されるアルミ魂の内約50%は国内の加工業者に販売されています。現在バーレーン政府は、新たな輸出品としてアルミ製品を最重要視しており、品質の改善等、アルミニウム川下産業の育成に力を入れています。

### 3. 石油化学

非石油産業の育成に取り組んでいるとはいえ、現在でも一日約3.7万バレルの原油を産出しており、国の大きな収益源のひとつです。また、付随ガスのプロパン、ブタン、ナフサなどへの製品化も行っており、これら石油化学産業の発展は同時に化学薬品、洗剤、塗料などの軽工業の発展を促しました。

精油能力	25.3万バレル/日	
精製原油量(03年実績)	25.3万バレル/日	
うちバーレーン産原油	3.7万バレル/日	※サウジ産原油はサウジより輸入
サウジアラビア産原油	21.7万バレル/日	

### 4. 観光サービス

バーレーンとサウジアラビアは海上道路でつながっており、毎年近隣諸国から多くの観光客が訪れます。2004年にはバーレーン国際サーキットで、中東で初めてのF1レースが開催され、宿泊施設や関連サービスが整備されました。さらに、大規模なリゾート施設や人工島など、いくつもの複合レジャー施設が現在建設されています。



#### キングファハドコーズウェイ

バーレーンとサウジアラビアを結ぶ全長25<sup>キロ</sup>に及ぶ海上道路。また、現在カタールとの間にも海上道路建設計画が進んでおり、これが完成すればUAE、オマーンへも陸路の利用が可能となるため、バーレーンの地理的優位性は今後さらに高まると予想されます。

出所：バーレーン経済開発委員会  
在バーレーン王国日本国大使館



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、  
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は  
「バーレーン」

## バーレーンの大規模開発

バーレーンでは現在、以下のような大規模開発が行われています。

プロジェクト名	アルアリーン・スパ&リゾート	バーレーン・フィナンシャル・ハーバー	アムワージ島	ドゥラット・アル・バーレーン
費用	7億5000万ドル	13億ドル	10億ドル	30億ドル
規模	200万平方メートル	38万平方メートル	275万平方メートル	2,000万平方メートル
投資家	Gulf Finance House(GFH)	Gulf Finance House(GFH)	Ossis Property Developers	Bahrain Government&Kuwait
種類	商業、住居、ショッピング、レクレーション、ヘルス&メディカル	商業、住居、レジャー	商業、住居、レジャー、ホテル&観光	商業、住居、レジャー、観光
完成日(予定)	2008年	完成	完成	2010年
ウェブサイト	<a href="http://www.alareenresort.com">www.alareenresort.com</a>	<a href="http://www.bfharbour.com">www.bfharbour.com</a>	<a href="http://www.ossisonline.com/">www.ossisonline.com/</a>	<a href="http://www.durratbahrain.com">www.durratbahrain.com</a>
イメージ				

## 高い経済自由度

米ヘリテージ財団とウォールストリートジャーナルが発表する経済自由度ランキングで、1995年から2008年まで  
**14年連続中東地域第1位！！**

国名	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996	1995
アルジェリア	55.7	52.2	53.4	50.3	54.9	54	60	55.2	58.4	55.8	54.4	53.4	52.9	54.3
<b>バーレーン</b>	<b>72.2</b>	<b>71.2</b>	<b>71</b>	<b>73</b>	<b>77.8</b>	<b>77.7</b>	<b>78.3</b>	<b>79</b>	<b>79.2</b>	<b>78.9</b>	<b>79.4</b>	<b>80.6</b>	<b>80.8</b>	<b>80.7</b>
エジプト	59.2	53.2	52.2	52.7	53.5	51.7	50.5	48.7	51.3	58.6	58.8	55.2	52.9	46.4
イラン	44	43.1	43.3	43.9	38.7	39.4	33.3	33	34.7	34	33.2	31.6	32.8	-
イラク	-	-	-	-	-	-	15.1	16.5	15.3	14.4	14.4	14.4	14.4	-
イスラエル	66.1	68.4	66.7	63.8	63.1	64	67.2	62.3	62.9	63.8	63.7	63.7	63.1	62.8
ヨルダン	63	64	63.8	64.7	64.4	63.7	64.3	65.1	64	65.7	65.1	64.5	60.5	61.8
クウェート	68.3	63.7	62.6	59.2	60.4	62.6	61.6	63.3	65.5	66.2	62.6	62.5	62.6	-
レバノン	60.9	60.3	58.5	55.8	53.1	55.1	55.5	61.1	56.9	58.9	58.9	63.7	62.3	-
リビア	38.7	34.5	34.3	28.4	28.9	31.8	31.7	32.2	32.1	27.1	26.8	25.9	25.7	-
モロコ	56.4	57.4	53	54	58.1	59.4	59.3	63.7	63.1	64.6	62.3	62.9	63.4	62.1
オマーン	67.4	63.9	62.3	62.3	63.3	61.8	62.9	63.3	59.9	61.1	62.6	62.1	62.8	67.5
カタール	62.2	60.7	60.4	58.9	62	62.6	58.3	55.8	57.8	57.7	-	-	-	-
サウジアラビア	62.8	59.1	61.4	59.5	55.8	57.2	59.4	55.5	60.3	58.8	63.1	62.5	61.9	-
シリア	46.6	48.2	50.5	45.5	37.3	37.5	35.6	37	37.7	39.6	44	44.2	44.1	-
チュニジア	59.3	61	59.2	56.7	59.4	59.2	60.3	60.8	62.1	62.2	64.4	64.4	64.4	63.9
UAE	62.8	60.4	59.7	61.3	64.6	70.6	76	77.2	74.9	74.7	76.5	74	73.9	-
イエメン	52.8	53.8	50.8	49.3	45.2	46.1	43.5	41.4	41.3	42.5	42.2	47.3	49.2	49.3

### 2008年経済自由度ランキング中東地域上位5カ国

世界順位	地域順位	国名	経済自由度	前年比	ビジネス	貿易	財政	投資	金融
19	1	<b>バーレーン</b>	<b>72.2</b>	<b>1.0</b>	<b>80.0</b>	<b>80.8</b>	<b>99.7</b>	<b>60.0</b>	<b>90.0</b>
39	2	クウェート	68.3	1.7	68.5	81.0	99.9	50.0	50.0
42	3	オマーン	67.4	1.4	55.8	83.6	98.5	60.0	60.0
46	4	イスラエル	66.1	1.5	68.4	86.6	55.9	80.0	60.0
58	5	ヨルダン	63.0	-0.5	55.4	74.8	83.7	50.0	60.0

バーレーンは古くから金融センターとして発展してきたため、特に金融セクターにおける自由度が高く、日本を含む海外からも多くの金融機関が進出しています。

出所：バーレーン経済開発委員会、米ヘリテージ財団、ウォールストリートジャーナル



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、  
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は  
「バーレーン」

## バーレーンの生活

- 治安: 非常に暮らしやすい。  
休日には近隣諸国からも多くの人々が訪れる。
- 宗教: イスラム教の戒律は比較的緩い。  
レストランでの飲酒も可能。
- 国民: 人口のほぼ半数がバーレーン人。  
残りはインド、パキスタンなど海外からの出稼ぎ。
- 料理: 羊やラクダなどの肉料理が好んで食べられる。  
米の料理には、マチブースという肉や魚を入れた炊き込みご飯などがある。
- 日本製品: 電化製品・日本車(特にレクサス)が人気。  
日本のアニメも人気がある。
- スポーツ: 最も人気があるスポーツはサッカー。

伝統的なアラブ料理



マチブース



## バーレーンナショナルデー(建国記念日)パーティーの様相

2007年12月13日に、東京の帝国ホテルで開かれたバーレーンのナショナルデーパーティーにご招待いただきました。国会議員、各国大使をはじめ、日本企業の関係者など数百名もの人々が招かれた盛大なパーティーでは、伝統音楽の演奏が披露され、アラブ料理が振舞われました。



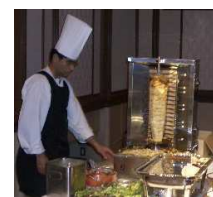
バーレーンの国章を象った美しいモニュメント



入り口にはバーレーンの国旗と国王の写真が飾られていました。



バーレーン大使(右)、サウジアラビア大使(左)と共に



伝統的な肉料理のシュワルマ

出所:バーレーン経済開発委員会、バーレーン王国大使館

### 訪問を終えて

将来を見据えて非石油産業の育成に早くから積極的に取り組んでおり、中東地域の中では経済自由度が非常に高く、今後も非石油産業の発展を通じた、安定的な経済成長が期待できると感じました。特に古くから金融センターとして発展してきたバーレーンには、長年の経験から得られた金融のノウハウが蓄積されており、今後も地域の金融センターとして君臨し続けるのではないかと考えます。また、経済開発委員会のような独立機関が日本など国外で活動していることも、海外からバーレーンへの投資の拡大、外国企業の誘致、経済の発展に貢献していると思われます。日本ではまだなじみのない国ですが、今後注目すべき国の一つです。(これらは全て2007年12月3日現在の情報です)

取材・編集: スパークス・アセット・マネジメント(株) 事業開発部 投信グループ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。